

永久に不愉快な二重生活

芥川龍之介



なかむら  
中村さん。

問題が大きいので、ちよいと手軽に考をまとめられません  
が、ざつと思ふ所を云へばかうです。

元来芸術の内容となるものは、人としての我々の生活ぜんよう全容  
に外ほかならないのだから、二重生活と云ふ事は、第一義的には  
ある筈がないと考へます。

が、それが第二義的な意味になると、いろいろむづかしい  
問題が起つて来る。生活を芸術化するとか、或は逆に芸術を  
生活化するとか云ふ事も、そこから起つて来るのでせう。

あなたの手紙にあつた芸術家の職業問題などは、それを更  
に一步皮相ひさうな方面へ移して来ての問題だと思ひます。

だから「物心ぶつしん両面に於おける人としての生活と、芸術家とし  
ての生活の関係交渉」と云つても、それぞれの意義に相当な

立場をきめてかからないと、折角せつかくの議論は混乱するより外ほかに  
ありますまい。

所で私は前にも云つたやうに、今さう云ふ問題を辯べんじてゐ  
る暇ひまがない。

が、強しひて何か云はなければならぬとなると、職業とし  
て私は英語を教へてゐるから、そこに起る二重生活が不愉快  
で、しかもその不愉快を超越てうあつするのは全然物質的の問題だが、  
生憎あいにくそれが現代の日本では当分解決されさうもない以上、永  
久に我々はこの不愉快な生存を続けて行く外ゆはないと云ふ位  
な、甚はなはだ平凡な事になつてしまひます。

これでよかつたら、どうか諸家の解答の中へ加へて下さい。  
以上。

永久に不愉快な二重生活

永久に不愉快な二重生活

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四巻」筑摩書房  
1971（昭和 46）年 6 月 5 日初版第 1 刷発行  
1979（昭和 54）年 4 月 10 日初版第 11 刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007 年 6 月 26 日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫  
(<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。